

能登半島地震の被災地を視察しました



参議院議員・薬剤師 神谷政幸

令和6年能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、ご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

令和6年3月11日、能登半島地震による被災状況と薬剤師の活動を視察するため石川県を訪問しました。視察には石川県薬剤師会副会長の橋本昌子先生と日本薬剤師会災害対策委員会委員長の越智哲夫先生に同行していただきました。

主な内容は以下の通りです。金沢で石川県病院薬剤師会の森戸敏志会長と面会后、穴水町の薬局を訪問し原将充能登北部支部長と石川県薬剤師会の竹端裕常務理事に面会。その後、公立穴水総合病院、珠洲健康増進センター、珠洲市総合病院を訪問し発災からの活動を伺い、いしかわ総合スポーツセンター（1.5次避難所）を訪問しました。

特に印象に残ったのは、穴水町で伺ったお二人の先生のお話でした。薬剤師は持参薬を見れば瞬時に現在の手持ち薬から代替薬が提案できる。厳冬期の避難所は締め切った環境になるため、CO₂モニターを利用した換気指導や感染対策が重要。地域の薬局や薬剤師は減少しており、自ら被災しながらも、災害活動は様々な役割を少ない人数で対応してきたとのお話を伺いました。

元々、医療従事者が少なかった上に、地震の影響で道路が寸断された半島の地理的条件もあり、勤務する施設にたどり着けなかった職員も多かったと聞きました。その中で、被災しながらも懸命に活動された石川県薬剤師会の先生方、また応援に駆け付けた日本薬剤師会、日本病院薬剤師会の先生方、医薬品供給にご尽力いただきました卸の皆様改めて敬意と感謝を申し上げます。今回の視察で得た知見をもとに政策や国会等での発言を通じ、一日も早い復興を後押しすると共に、国土強靱化に取り組んで参ります。結びに、今回の視察にご尽力いただきました関係者の皆様に御礼を申し上げます。

